

SEAラウンドトーク

ソーシャリー・エンゲイジド・アート
ラウンドトーク

アーティストは今、ソーシャリー・エンゲイジド・アートをいかに捉えているのか？
一線で活躍するアーティストによるトーク&ディスカッション・シリーズ

Vol.1

アートの楽屋

—アーティストの視点から考えるアートと社会の関係—

日時 2017年10月6日[金] 18:30-20:30

会場 Arts Chiyoda 3331 1階 101

定員 15名(先着順) 参加費 500円(コーヒー/資料代込)

イギリス、ノルウェイ、オランダ等、ヨーロッパを中心に、分野横断的な表現活動をしてきたアーティスト清水美帆さんを話し手に迎えます。

清水さんは20年間ほどの活動を通して、アーティスト、作品、観客との関係性を考え続けてきました。時代背景、制作環境、人々の考えの違いや変化に伴って作品のスタイルはいかに変わるのか？作品を発表することを通してどういう関係性を観客や社会と築きたいのか？ソーシャリー・エンゲイジド・アートに対する清水さんの考え方を、作品事例と合わせて語っていただき、参加者とともにディスカッションをおこないます。



Miho Shimizu

清水 美帆

アーティスト

1976年、東京生まれ。ゴールドスミス大学(ロンドン)で美術を学び2001年に卒業。ピエット・ズワルト・インスティテュート(ロッテルダム)への交換留学を経て、2011年にオスロ芸術大学で修士課程を修了。部族、都会の両方に見られる衣装や儀礼に着目し、それらを通じた個人や社会での変容をテーマに制作している。制作した衣装や小道具は、役者、ダンサーのパフォーマンス、映像作品に使われている。ソロ活動に並行して取り組むオイヴン・レンバーグとのコラボレーションでは、多彩な芸術表現を通して旅の経験を物語っている。
www.dangermuseum.com/ja

お申込み&お問合せ

メール | info@art-society.com

件名を「10/6 SEA ラウンドトーク」とし、お名前、ご所属、同伴者の人数をご記載のうえお申し込みください。

※ いただいた個人情報は、適切に責任を持って管理いたします。
※ 会場へのアクセスは Arts Chiyoda 3331 ウェブサイトよりご確認ください。
(〒101-0021 東京都千代田区外神田6丁目11-14 | www.3331.jp/access)

主催



NPO法人アート&ソサイエティ研究センター
110-0005 東京都台東区上野 3-13-9 原田ビル 201